

# ママたま通信

第1号

はじめまして、  
不育症のプレママ・ママ達の会ができました。

流産や死産を経験されたママ  
今、治療を受けているプレママ  
これから治療をはじめるプレママが  
気楽に話をできる場としてご利用ください。



## ママとたまごの会のご案内

流産や死産はつらい経験です。でも、周りにそれを理解してくれる方がいれば、そのつらさも変わるかもしれません。もし、抗リン脂質抗体症候群など不育症の原因を見つけて治療できれば、流産や死産を予防できる可能性も高くなりますが、検査や治療法の情報を得る機会も少ないのが現状です。赤ちゃんができて、いろいろな心配事は絶えません。

「そんなことを話し合える仲間のネットワークができれば」との要望から、**ママとたまごの会**が生まれました。

**38**歳の時、友人から勧められて不妊治療で有名な地元の病院へ行きましたが、年齢的なこともあり、すぐに人工授精を6回、体外受精を4回しました。でも、妊娠せず、体調を崩してしまいました。

その後、全国的にも有名な不妊専門クリニックへ何か所か行きましたが、年齢のことで断られたり、すぐに体外受精を勧められたりしました。その後に行った病院で初めて、流産を繰り返す不育症という状態があることを聞きました。検査で抗リン脂質抗体症候群であることが分かり、アスピリンの内服を始めました。その後、しばらくして自然妊娠し、アスピリンとヘパリンの治療で今回、無事出産できました。

理解してくれる人がいて助かりました。

仕事をしていたので、不妊治療のために休むのを上司が理解してくれないのがつらかった。そのストレスでよけい妊娠できない気がしました。お姑さんから、



## ちょっと先輩のママからのお便り

長年、不育症だとは思わなかった。

**26**歳で結婚し、28歳で一度、自然妊娠しましたが、妊娠8週くらいになっても赤ちゃんの心拍が見えず、妊娠10週で子宮内容除去術をしました。翌年も妊娠しましたが同じように流産しました。この時は、仕事のストレスもあるし、お腹をぶつけることも多く、それが原因だと思っていました。でも、その後は、流産や手術が怖くて、子どもを作らないようにして10年近くも経ってしまいました。でも、自分は妊娠しているし、異常があるとは思っていませんでした。

「頼むから治療をやめてくれ」「体外受精でできる子は障害があるんじゃないか」と言われた時もつらかったです。

でも、不妊治療をしている時に、友人や同僚が良い漢方の店を紹介してくれました。今回の妊娠のこともとても喜んでくれました。夫が両親学級で呼吸法の練習をしてくれ、陣痛の時、一緒に乗り越えてくれたのもうれしかったです。妊娠中、4ヶ月半の入院生活で同じように治療している人達と話したことはずっと忘れません。

今から振り返ると、最終的に子どもがいなくても、楽しくて充実した生活ができる自分を見つけようとも思った時期もあります。もっと自分で病気や病院のことをしっかり調べるのと、話せる人には何でも話してストレスをためないのが何よりだと思います。





## Q. 不育症の検査にはどのようなものがありますか？

**A.** 流産や死産の原因は多岐にわたります。1つ明らかな原因が見つかって、その治療をしても、他にも原因となる異常があれば流産や死産になる場合もあります。

血液検査で分かるものとしては、甲状腺ホルモンなどのホルモンの異常、軽い糖尿病など耐糖能の異常、免疫の異常、血液凝固の異常などがあります。特に、抗リン脂質抗体は、最近、種々のタイプを測定することが可能になっています。健康保険の適応のないものもありますので、主治医の先生の説明を良く聞いて検査するかどうか決めましょう。

子宮の内腔が生まれつき変形している場合は、流産や早産をしやすいことが知られています。特に、子宮の中に中隔があり、2つの部屋に分かれている場合は中隔子宮と呼ばれ、流産が高率に起こります。子宮卵管造影検査により、子宮の内腔の形をレントゲンで見ることで診断されます。

染色体の異常も流産や死産の原因になります。胎児が育たなかった場合は、胎児の胎盤の一部で染色体検査をすることがあります。また、ご夫婦の染色体検査は血液で行います。もし異常があれば、流産しやすい確率が分かりますが、治療はできませんので、よく、相談して検査するかどうか決めましょう。

## Q. どのような場合に不育症の検査をしたらいいのでしょうか？

**A.** 流産や死産を繰り返す不育症の方は、勿論、不育症のスクリーニング検査をすべきでしょう。でも、以下のような方も、血液凝固の異常が見つかることがあります。

動脈血栓、静脈血栓、小血管の血栓症などの既往歴がある方、妊娠10週以上の子宮内胎児死亡を1回以上経験した方、妊娠34週までの重症妊娠高血圧症候群（妊娠中毒症：妊娠中に高血圧や蛋白尿を伴う異常）を経験した方、重症胎盤機能不全に関連する胎児発育遅延が見られた方、SLEなどの膠原病（自己免疫疾患）の方などです。



会員登録は無料です。  
ご希望の方は下記までご連絡ください。

2007年5月号第1号 **ママたま通信**  
編集/印刷/発行 岡山県不妊専門相談センター  
「不妊・不育ところの相談室」  
〒700-8558 岡山市鹿田町2-5-1  
Phone&Fax 086-235-6542  
E-Mail funin@cc.okayama-u.ac.jp  
URL [http://www.okayama-u.ac.jp/  
user/hos/funin/index1.html](http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/funin/index1.html)